

第8回全国高等学校情報教育研究会 全国大会(宮崎大会)の報告

1. はじめに

第8回全国高等学校情報教育研究会¹⁾全国大会(宮崎大会)が、8月10日(月)、11日(火)の2日間に渡って宮崎公立大学(宮崎県宮崎市)を会場にして、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部や文部科学省など、多数の後援や協賛をいただいて開催された。初の九州での開催となった今大会には、九州各地からも多くの参加があり、教員、大学・企業関係者等の参加者212名によって、ポスターセッションや分科会で研究協議が行われた。

2. 大会概要

【テーマ】

「地域課題に向きあう情報教育～地方からの挑戦～」

【日時】

平成27年8月10日(月)13:00～11日(火)12:40

【会場】 宮崎公立大学(宮崎県宮崎市)

【主催】 全国高等学校情報教育研究会

【共催】 宮崎県高等学校等情報教育研究会

【後援】 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部、文部科学省、宮崎県教育委員会 他

【大会 URL】 <http://www.zenkojoken.jp/08miyazaki/>

【プログラム】

○8月10日(月)

- 11:30～ 受付
- 12:30～ 全国高等学校情報教育研究会総会
- 13:00～ 開会行事
- 13:30～ ライトニングトーク
- 14:30～ 分科会(3分科会で各7件の発表)
- 19:00～ 教育懇談会

○8月11日(火)

- 8:30～ 受付
- 9:00～ ポスターセッション、企業展示
- 10:30～ 全体会(講演)
「高等学校の教育改革と情報科教育」
九州工業大学大学院情報工学研究院
西野 和典 教授
- 11:40～ 全体会(講評・講演)
国立教育政策研究所 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局 教科調査官
鹿野 利春 先生
- 12:30～ 閉会行事

3. 大会の様子

(1) ライトニングトーク

今大会は、Lightning Talkセッションからのスタートとなった。1人3分で、14名の先生方から分科会の内容等について発表があった。このLightning Talkも3年目になり、分科会での発表内容を短時間でプレゼンするという本来の目的ももちろんあるのだが、これから始まる大会を発表者と会場が一体となりながら盛り上げていくイベントとして定着してきた感がある。

機器の接続等も含めて3分という短い時間でのプレゼンなので、写真を多用したビジュアルなスライドを使う発表者もいれば、あえてマイクのみでのパフォーマンスをする発表者もいて、それぞれ工夫したプレゼンが行われた。埼玉大会から恒例になりつつある実行委員会からの地元紹介もあり、前大会から用意された話者交代を告げる銅鑼の音とともにセッションは盛り上がっていった。



図1 会場となった宮崎公立大学と開会行事の様子



図2 ライトニングトークの様子

(2) 分科会

分科会は3つの会場に分かれて行われた。例年よりも発表数の設定が少ないようであったが、交代や調整の時間を含めて1件につき30分の時間が取られていたので、発表をしっかりと聞くことができた。

発表は、情報モラル、問題解決、論理的思考力といった内容のほか、クラウドの活用、タブレットの活用、アクティブ・ラーニング、e-Portfolioといった最近話題となっているような先進的な事例もあった。すべての発表を聞けないことが残念であったが、関係者の配慮により、大会 Web サイトに発表要旨及び発表スライドがアップされているので、ぜひ一度参照してほしい。



図3 分科会発表の様子

(3) ポスターセッション・企業展示

大会2日目は、約90分間のポスターセッションからスタートした。今大会では、ポスター発表(22件)と企業展示(14件)のエリアを分けずに会場内に交互に配置し、発表や展示が見やすいように工夫されていた。

全体的に「情報の科学」に関連するような内容が多かった印象がある。プログラミングに関する発表のほか、データベース学習の支援ツールやモデル化とシミュレーションの実践報告もあった。高校の教員に交じって大学の先生方の実践も発表され、情報入試や情報オリンピックに関する発表もあった。ポスターセッションと企業展示に関しては、大会 Web サイトに発表テーマや要旨などが掲載されているので参考にしてほしい。



図4 ポスターセッションの様子

(4) 講演

ポスターセッションの後、開会行事を行った講堂に移動して、全体会として講演が行われた。九州工業大学大学院の西野和典教授から、「高等学校の教育改革と情報科教育」という演題でお話いただいた。

講演では、「21世紀に求められる資質・能力と情報科教育との関係」、「アクティブ・ラーニングと情報科教育との関係」、「高大接続改革と情報科教育との関係」という3つについて順にお話になった。特に、アクティブ・ラーニングとの関係については興味深い内容であった。



図5 講演の様子

(5) 講評・講演

4月から永井視学官の後任として着任された、文部科学省生涯学習局の鹿野利春教科調査官から、大会を振り返っての講評と、「高等学校の教育改革と情報科教育」という演題の講演をいただいた。

講演では、大会直前の8月5日に行われた教育課程企画特別部会の資料を引用しながら、新学習指導要領に関する「情報科」の内容の見直しの方向性などについてお話になった。

4. おわりに

来年度の全国大会は、平成28年8月8日(月)、9日(火)(予定)に、神奈川県川崎市の専修大学生田キャンパスで開催される。そして、少し気が早いですが、第10回の記念大会は東京都内での開催が予定されている。子どもたちにとって、情報科での学びはこれからますます重要なものとなってくるはずである。来年の大会で、全国の情報科の先生方の素晴らしい実践や研究が聞けることを楽しみにしている。

参考 URL

- 1) 「全国高等学校情報教育研究会」
<http://www.zenkojoken.jp/>